

2019年7月13日～2019年7月19日

2019年7月23日

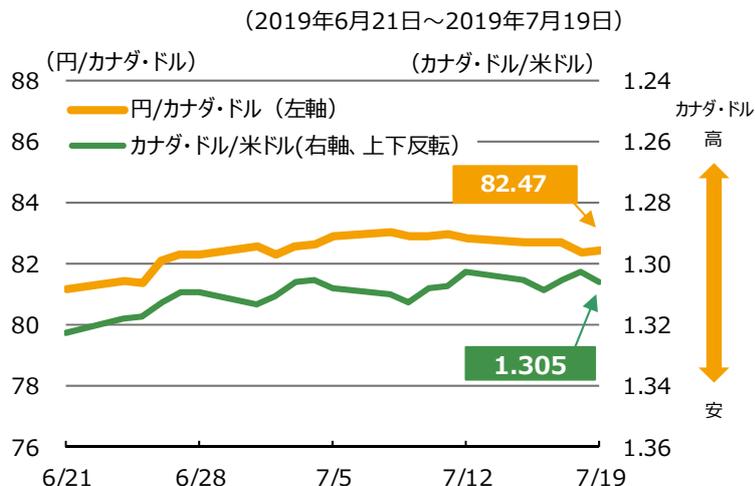
先週の回顧

カナダ・ドルは、対円で下落しました。また、カナダ5年国債利回りは低下しました。

FRB（米国連邦準備制度理事会）高官の発言などを背景に、利下げ観測が高まり米債利回りが低下したことに連れてカナダの金利は低下しました。また、カナダ金利の低下や原油価格の下落を背景に、カナダ・ドルも下落しました。

経済指標ではCPI(消費者物価指数)、小売売上高が発表されており、CPIは市場予想通りの結果になりました。小売売上高に関しては、前月比ベースで市場予想プラスに反して、結果はマイナスとなりました。

カナダ・ドル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

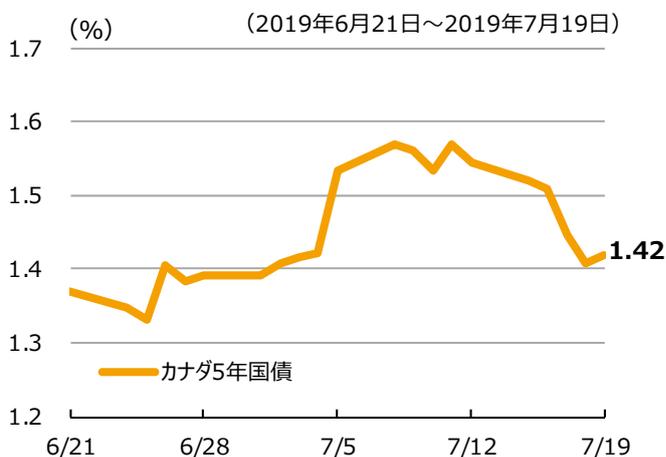
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

今週の見通し

今週、カナダでは特段重要な経済指標の発表はありません。米国では、GDP（国内総生産）の発表が予定されており、来週のFOMC（米国連邦公開市場委員会）での利下げ幅に影響を与えることが想定されるため、その結果に注目が集まります。

また、引き続き、カナダは年内の政策金利据え置きの見方が優勢となっており、欧米との金融政策の方向性が異なっていることは、カナダの通貨、金利を下支えすると考えられます。

カナダ 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。